2013 情報交換会のご案内

平素は当協会の製品安全（ＰＬ対策）研究および啓発活動にご協力賜り感謝申し上げます。
2013 年、政権交代に伴う影響は、過剰な円高の是正・株高などに反映されています。
さて、製品安全を取り巻く環境もこの数年ですっかり様変わりし、従前の対策では司法に於いても、例えば「事故調設置」に代表されるように、消費者庁の行政的立場がより鮮明になっています。
一方、例えば取扱説明書一枚の捉え方は、従来は法務担当の意向を強く反映していました。ところが、先般放映された NHK「クローズアップ現代」での、製品安全第一人者といわれる向殿教授の締めの解説の通り、状況は１８０度変わりました。特に、取扱説明書に代表される PL 対策については、業界団体の古い基準などを社内基準とすること自体、販路から敬遠され始めています。
このような新しい時代の波に乗るためには、常に最新情報を得て、それを水平構造的に社内及び全てのステークホルダーが共有し、迅速に対応して行かねばなりません。
日本では、こうした取り組みを専門に研究しているのは当協会だけなのです。
その結果、特に非対面営業をする通信販売業界では、社内品質基準の見直しに当協会のガイドラインなどを重視してきています。
また製品事故も、被害者の届け出に先んじて、消防、警察、医療機関から事故データベースに登録されるため、１０日間の初動（初期対応）が大きな負担になっています。これに関しても当協会では、昨年末、消防署の協力のもとで、中立的立場の PL アドバイザーが聴き取りを実施、初期対応を 3 日で終了する、という実績を作っています。
この場合、費用も PL 保険の初期対応費用で賄えるため、社員の通常業務を阻害せず円滑な対応が可能になっています。

国内景気はまだまだ実質的には底から抜け出ていません。だからこそ今、企業体力の本質である「製品安全対策」、特に民間の自主的取り組みである「最新の PL 対策」が肝要なのです。つきましては、PL 対策を事業に反映するための具体的な事例などのご報告の場と新年に際しての会員間の交流強化・地域社会での取り組み支援活動の一環として、情報交換会の場を設けました。
日時場所などは別紙をご参照ください。お取引き先などにもぜひお声をかけて頂き、積極的にご参加ください。（定員になり次第閉め切ります）

特定非営利活動法人　**日本テクニカルデザイナーズ協会**